良　い　ヨルダン
الأردن كويس
クワイエス　　　　アルウルドン

皆さんこんにちは。青年海外協力隊としてヨルダンで活動中の小林です。早いもので赴任後半年が経ちました。任期は 2 年間。もう任期の 4 分の 1 が終了したことになります。6 月末にお世話になった先輩隊員十数名が帰国し、その翌日新隊員の 24 年度 1 次隊を迎え、少し雰囲気も変わったように感じます。

6 月から週に 1 度、系列校での活動も増え、公私ともに充実した国際協力活動を行えていると思っています。

今回は活動報告と私の住んでいるマルカの紹介、ヨルダン観光地紹介をしたいと思います。

1.活動報告

1）配属先（TTI : Testing and Training Institute）金属加工科での活動

前回報告では、授業風景の見学、専門用語の学習、教材作成等を行っていると報告いたしましたが、現在も継続中です。私のメインの活動は側面支援であり、主役ではありませんので…。アラビア語を使った会話も徐々に、意思疎通が図れるようになり、生徒や同僚ともお互い冗談を言い合えるような雰囲気になってきました。

また、普段の授業以外での取り組みとして、シニアボランティアの企画による Clean-Up Day を補佐し、訓練校の美化に協力致しました。

ヨルダンでは人前で表彰される事があまりなく、そういった機会を作る事で、意識が向上する面があります。今回は、掃除がキレイに行われていたか？まじめに取り組んだか？などを校長に審査してもらい、先生と生徒の表彰を行い、ペンをプレゼントする企画でした。

平等に各コースの 1 名の先生、2 名の生徒が表彰される事となりました。

他には、職業訓練公社の本部企画によるパワーポイント講習の補助も行いました。講師がClean-Up 企画とは別のシニアボランティアの方でしたので、私自身の研鑽と合わせて、協力させて頂きました。

受講者はヨルダン国内各訓練校から集まった、冷凍・空調コースの先生約 10 名+αでした。内容はアニメーションを用いた簡易動画の作成でした。私は与えられた課題を自分でやりつつ、周囲の先生達にアドバイスをする事が主な仕事でした。

ただ、使用したパワーポイントは英語版でしたので、なかなかメニューの名前などが分からず苦労致しました…。やはり国際人間には英語力が必要だなと痛感させられました。

これからは、自分自身で企画した催しを開催できるように、各先生などのニーズの把握に努めたいと思います。

配属先校長と僕です

2）STIMI（Specialized Training Institute for Metal Industries）での活動報告

この学校は、日本名を職業訓練技術学院と言い、高校卒業生レベルの学生を受け入れ、金属加工に特化した、ワンランク上の職業訓練を行っております。

ちなみに、メインの活動先である TTI は中卒レベルの学生を受け入れています。

ワンランク上と言う事で、コンピュータ制御の工作機械をはじめ、かなり充実した設備の下で訓練を行っています。

ここでは、主にインストラクターへ機械保守について、コンピュータ制御の機械（CNC 機）のトラブル発生時における対応方法について教える予定になっています。ただ、まだその段階まで行っていなくて、6 月の４回の活動では、下記の内容を行いました。

① 万能工具研削盤の操作方法

この機械は、工作機械に用いる刃物を、研いで切れ味を良くするために使います。包丁研ぎと似ています。

インストラクターからの要請は、エンドミルと言う側面と先端の両方に刃がついた工具の研削方法を知りたいとの事でした。

実際日本での経験はゼロで正直困ったのですが、出来る範囲でやってみようと言う事で、トライしてみました。

結果は、大まかに研ぐ事は出来ても完全に使えるものにならなかったです。

ただ、必要な切れ刃角度等の合わせ方、操作方法については教える事が出来たので、後はインストラクターの練習次第と言う所でしょうか…。もちろん私自身も、今後研鑽して、もっとコツなどを教えられるようにしていきます。

② ラジアルボール盤の修理

これはJICAから派遣された調査団の方が、STIMI内の各機械を点検した際に故障を把握していたものです。日本から故障の原因と思われる交換部品が届いたので、その交換をしてほしいとの依頼でした。

作業後動作チェックを行うと、問題は解決しておらず、不具合原因が他にある所まで理解できました。

これは良い教材だと思い、インストラクターと一緒に必要な取扱説明書や、機械の配線図（ラダー図）を探し出し、トラブル発生時の対応方法の説明を行う事にしました。

このラダー図を見る事が出来ると、故障の原因箇所を探し出す事が出来ます。原因が分かれば、ある程度の問題については、ヨルダンで対応可能になります。今までは故障の度に日本に頼っていた部分もあるので、ぜひ自立してもらい、ヨルダン国内の工業力発展に繋がってもらいたいと思っています。

2．マルカについて

僕が活動している地域、そして住んでいる地域がマルカと言う名前の地域です。ここマルカは、首都のアンマン市の一番端にあります。軍民共用空港があり、２４時間運用されているようです。また、パイロットを養成する学校もあるようで、小型の訓練機もたくさん飛んでいます。日本だと騒音がどうのこうので、必ず反対運動が起きそうな位置にあります…。

空港から坂を下ると、鉄道の駅もあり、さらに下ると、市内およびヨルダン北東部行きのバスターミナルもあります。交通の要所とでも言うべきところでしょうか…。僕の家のテラスからは空港滑走路の一部を見る事が出来ます。

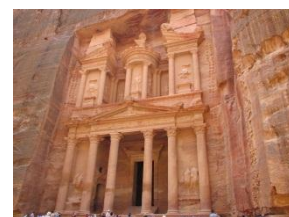
残念ながら、空港や飛行機の写真は撮ってはいけない事になっていますので、グーグルマップで位置関係を示したいと思います。

この写真ではアンマンのすべてを見る事は出来ません。皆さんぜひグーグルマップをご覧いただき、空からのヨルダン旅行をお楽しみください!!

3．ヨルダン観光地情報

私自身が行った事のある場所を紹介します!!

① ペトラ遺跡

ここはご存知の方も多いかと思いますが、映画の舞台にもなった有名な遺跡です。Vol.2 でも写真を紹介していますが、実はこの遺跡、とても広く 1 日じゃ全てのポイントを回りきるのは大変です…。1 日券は 50JD。2 日券は 55JD です。時間に余裕がある方は、ぜひお得な 2 日券をお買い求めください!!

② 死海

北海道の方ですと某ホテルの「死海プール」CM をご存知かと思います。

この死海ですが、とてもじゃないですが泳げません…。浮かびすぎるんです(笑)そして水が目に入ると、目が開けられない程の苦痛です…。ここは泳ぐところではありません。ぜひ定番である「浮かびながら新聞を読む姿」の写真を撮影してみて下さい!!

また、女性は現地の青年に注意してください。公共ビーチではセクハラ被害が必ずと言っていいほどある場所です。ホテルのプライベートビーチではそのような事は無いでしょう。

③ アカバ

　ここはヨルダンで唯一海（紅海）に面した街です。マリンスポーツなども盛んで、僕はスキューバダイビングをやってきました。特にヨーロッパからの観光客が多く、国際色豊かな雰囲気です。アカバではアンマン以上に英語が通じるイメージがあります。ホテルはリゾート型のホテルが多く、ゆっくり気ままな時間を過ごしたい方にとてもお勧めです!!

　ダイビングショップでは、ヨーロッパからの観光客との会話を楽しむ事ができ、ヨーロッパから見た日本のイメージなども感じる事が出来ました。何より英語の勉強になります…。

④ マダバ

　ここは、アンマンから 1 時間ほどで行ける街です。キリスト教徒が多く住み、少し街並みも違うように感じます。

　ネボ山や複数の教会が見どころでしょうか。ネボ山からの見晴らしはとても良く、死海やエルサレムを見る事が出来ます。

⑤ ワディラム

　ここは、アカバから北に車で 1 時間ほど行った砂漠地帯です。

　たくさんのキャンプがあり、ヨルダンやアラブ諸国からも観光客が訪れる場所です。日中は 4WD 車をチャーターし、周辺のスポットを回り、朝日や夕日を見ると、何とも言えない空気に包まれ、大自然を感じる事が出来ます。また、夜はテントではなく砂漠に泊まり、星空を眺め、流れ星の数を数えながら眠るのも、ロマンチックですね!!

⑥ マイナーポイント…!?

　本当にマイナーポイントで、経験の無い人にはお勧めできない場所です。しかし、日本人なら必ず喜んで頂ける場所だと思います。

　ワディハサと言う場所で、小さな川伝いにトレッキングしながら進みますと、開けた場所に天然温泉が湧いているポイントがあります!!

　この源泉かけ流しの温泉は、湯温もちょうど良く、長時間岩を登り、水をかき分けて歩いた疲れを癒すのにはもってこいで、とても気持ちの良い時間を過ごす事が出来ます。

　トレッキングの知識と装備、現地警察への届出、ワディハサまでの移動手段等、整えなければいけない環境が多数ですが、この環境が整えば、ぜひ行ってみて下さい!!